



自然災害軽減のための国際協力のあり方を考える

日時：平成23年3月22日(火) 13:00～17:00

会場：日本学術会議講堂（東京都港区六本木7-22-34 東京メトロ千代田線 乃木坂駅 出口5）

後援：(社)日本地震学会、(社)日本建築学会、(社)日本機械学会、(社)土木学会、(社)地盤工学会、
(社)日本都市計画学会、(社)日本建築構造技術者協会、地域安全学会、日本災害情報学会、
(社)日本地震工学会、日本災害復興学会、日本自然災害学会

近年世界的に自然災害が多発する中、多様で深刻な数々の自然災害を乗り越え、経済発展を成し遂げた日本の国際協力に対し、アジアを中心に極めて高い期待が寄せられています。この期待に応えることを、わが国の国際支援の基本に位置付けることが重要です。

自然災害軽減のための国際支援には、社会、経済、農業、環境、科学技術、教育等、数多くの分野の密接な連携が不可欠です。講演会では、国際協力の当事者である関係省庁、NGO、およびメディアを含めた国民と相互理解を深めつつ、幅広く意見交換を行います。

プログラム

13:00～13:10 開会挨拶 金澤一郎（日本学術会議会長）

13:10～13:50 要旨説明「自然災害軽減のための国際協力のあり方を考える」
濱田政則（日本学術会議第三部会員、早稲田大学教授）

13:50～14:00 ー休憩ー

14:00～15:00 特別講演「自然災害軽減のための国際協力の現状と課題」
伊藤滋（アジア防災センター長）

15:00～15:10 ー休憩ー

15:10～16:50 パネルディスカッション
「自然災害軽減のための国際協力のあり方」
コーディネータ
小松利光（日本学術会議連携会員、九州大学教授）
パネリスト
濱田政則（日本学術会議第三部会員、早稲田大学教授）
入江さやか（NHK報道局 災害・気象センター記者）
江島真也（国際協力機構(JICA)地球環境部長）
竹内邦良（(独)土木研究所水災害リスクマネジメント国際センター長）
永井智哉（内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(災害予防担当)）
橋本笙子（特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム理事）

16:50～17:00 閉会の辞 池田駿介（日本学術会議第三部会員・幹事）

参加費：無料

申込：Web申込フォーム、ファクシミリまたは葉書にて、講演会名、氏名（ふりがな）、および連絡先（電子メールアドレス、ファクシミリ番号または電話番号）をご記入の上、下記担当宛て**3月17日(木)まで**にお申し込みください。

定員に達し次第、締切とします。締切以降の申込者にのみ、その旨ご連絡します。

定員に達しない場合は、当日受付を行います。

参加申込・お問い合わせ

日本学術会議事務局企画課 講演会担当

〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34 電話：03-3403-6295 ファクシミリ：03-3403-1260

URL：<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0003.html>